

2016年7月 会社の雰囲気を1W^{7/21}明るくするコミュレポ

皆さん、こんにちは。私は、コミュニケーションについての気づきを毎月1回、振り返ることにしています。せっかくなので日頃お世話になっている皆さんにもシェアできればと思いこのようなレポートを記述することにしました。ご笑読頂ければ幸いです。

丹羽/佐之

なかなか治らない私の“癖”で…

株式会社フロンティアワークスでは「ドキュメント作成、デザイン、集計、広告」と幅広く対応しています。そんなある日、弊社で働く1人から「どうして、私がこんな仕事をするのですか。大体この仕事は私がやることではなくて・・・」といった意見が社内でも上がりました。その報告がジョブ・コーディネーターの永富から私のところに来て、事情を聞くと“誤解”がそこから社内に広がってしまったようでした。通常、弊社では顧客や私（ユメオカ）からの業務依頼が、永富に来て、それを彼が24人のスタッフに割り振るといった流れで業務が進むようになっています。

そして、冒頭の意見のあがった仕事とは「近隣で軽作業を探している会社を20件ほど一覧化する」という業務でしたが、依頼主は私です。誤解というのは「軽作業系の仕事にフロンティアワークスはシフトしていくのでは、それは当初（入社時）の話と違う」といった不安です。端的に言えば「軽作業系の仕事をするために、この会社に入ったわけじゃないのに」という不安が増大化したことに起因します。

私が依頼した意図は、「オフィスワークばかりだと少ししんどい」「たまには軽作業をしてみたい」という意見が一部の人から出てきたため、それにどこまで応えられるかまず調査してみよう、といったことでした。それが「会社の業務は軽作業にシフトする」という誤解につながったのです。この主原因は、私が永富にその業務目的を事前に説明していなかったことです。作業内容だけを指示しました。これまで目的を説明することはしていたのですが、忙しさと慣れで、どんどん「目的を伝える」ことを省いてしまうようになっていた時にこの“事件”です。

社内にこの誤解が広まってしまったため私はこの件について一通り説明し、目的を伝えなかったことを謝罪しました。全員に説明した後、個別でもフォローし、大事には至りませんでした。必要以上に骨の折れる仕事でした。頭では分かっていることですが改めて「目的、意図を抜かして業務依頼だけをする、リカバリーがその10倍大変である」ことを実感しました。同時に十分頭では分かっているつもりなのに、また以前はしっかりできていたのに「なぜ、（目的を）省くようになったのか」を振り返ってみると、私が無意識に効率を追ってきたことに起因することに気が付きました。

「効率を追えば追うほど、非効率な出来事に悩まされる」

仕事でも、家庭でもこれまで痛い目に合ってきた教訓ですが、またやってしまったわけです。私にはどうやら「**効率追求病**」が頭の中に常に潜んでいるようです。そのため自分でも意識しますが、社員達にも「その目的は何ですか？」と遠慮なく確認してください、と伝えました。